

令和元年度 横浜市岩間市民プラザ 自己・行政評価シート

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		R元年度計画		実施状況		評価	
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 市民への文化芸術の観賞、創作活動の機会の提供をします。	①地域の方が身近な施設で、質の高い文化芸術を体験する機会、きっかけをつくります。	●シリーズ「午前の音楽会」 □述べ入場者数/開催回数	900名/6回	783名/5回	C	実施日5/18,7/20,9/21,11/16,1/18 (3/21は感染症予防のため中止)	<b>【成果】</b> ・シリーズ事業「午前の音楽会」「岩間シネクラブ」「朗読と音の調べ」「邦楽いろはにほ」「シルクロードの旋律を奏でる」は継続して実施し、文化芸術を体験する機会として地域に定着しています。 ・「横浜音楽祭2019」開催年にあたり「保土ヶ谷オープンヘリテイジコンサート」「レクチャーコンサート」ほか関連事業により、様々な音楽体験の機会を提供することができました。 ・参加型事業としては、「岩間寄席」の入場者数が目標を大きく上回り、各ワークショップ、体験プランも盛況でした。 ・楽器体験教室(二胡教室)では、ホールにおいて受講生による成果発表会も開催することができました。 ・若手の落語家を応援する新規企画として、「岩間若手落語会」を吉野町と2館連携で開催。ニツ目(当時)の落語家2名を招いて、地元の落語愛好家から好評を得ました。 ・地域への愛着につながる事業として、ギャラリーで「岩間アーカイブ展」を新規に実施しました。横浜音楽祭やtvk番組の「ポスター展」を開催。また、「動物写真」を公募して展示を行い、施設利用でご来館の方を含めて多くの方にご観覧いただきました。  <b>【課題】</b> ・シリーズ事業の中には、入場者が減少傾向の公演もあります。企画主旨を踏まえながらも、内容、開催時期、回数を見直す必要があると考えています。
		●「岩間シネクラブ 思い出名画館」 □述べ入場者数/開催回数	720名/6回	877名/6回	A	実施日4/18,6/20,8/22,10/24,12/19,2/20	
		●「シネクラブ特別編・サイレントシネマ&活弁ワールド」 □入場者数	150名	162名	B	実施日 2/2	
		●「朗読と音の調べ」 ■文学作品朗読とオリジナル楽曲のコラボ □述べ入場者数/開催回数	実施 270名/2回	実施 204名/2回	— C	■藤沢周平作品朗読とオリジナル楽曲のコラボ公演を実施 実施日5/25	
		○「邦楽いろはにほ」 ■委嘱作初演曲を含むプログラム構成の充実 □述べ入場者数/開催回数	実施 250名/2回	実施 184名/2回	— C	■委嘱作初演曲「光・波・風」を含む、邦楽の魅力を様々な構成で伝えるプログラムを実施 実施日7/27,1/11	
		●「シルクロードの旋律を奏でる」 □述べ入場者数/開催回数	300名/2回	272名/2回	B	中国二胡公演 実施日7/6,11/10	
		●「岩間寄席」 ■アマチュア落語家参加の寄席 □入場者数/開催回数	200名/2回	398名/2回	A	アマチュア落語家参加の寄席を、年2回開催 実施日5/6,10/5	
		●「レクチャーコンサート」 曲目解説付きのコンサート □入場者数	90名/1回	74名	C	曲目解説付きのヴァイオリンコンサートを実施 実施日 4/14	
		●岩間若手落語会 ■吉野町と2館連携で実施	実施	実施	—	■吉野町と2館連携で実施 実施日 6/8	
		9	②講座やワークショップを開催することで文化芸術への理解・共感を高めていきます。	●「プラザDE体験講座」 カメラ講座 □参加者数	各回8名	延79名/10回	
●楽器体験教室 □参加者数	各回8名			延123名/21回	C	二胡教室 実施21回 実施日 4/11,25, 5/9,23, 6/6,20 7/4,18, 8/1,22 9/5, 10/10,24, 11/7,21, 12/12,19 1/16,30, 2/13,27 (3月教室、体験講座は感染症予防のため中止)	
■成果発表会	実施			実施	—	■受講生による成果発表会を開催しました 実施日 9/19	
10		●「プラザDE体験講座」 「歌助師匠の岩間落語塾」 (岩間寄席関連講座) □参加者数	各回4名	各回7名	A	「歌助師匠の落語岩間塾」実施22回 実施日 4/10,24, 5/8,22, 6/12,26 7/10,24, 8/7,28, 9/11,25 10/9,16, 11/13,27,12/11,25 1/8,22, 2/12,26 (3月は感染症予防のため中止) ■受講生は5/6,10/5「岩間寄席」に参加	
		○「プラザDE体験」 「着付け教室」	実施	実施	—	「着付け教室」実施22回 実施日 4/9,23, 5/14,28, 6/11,25 7/9,23, 8/20,27, 9/10,24 10/1,29, 11/12,26, 12/10,17 1/21,28, 2/4,18 (3月は感染症予防のため中止)	

	追加		●「ホールのピアノ体験プラン」	20名/年	188名/年	A	「ホールのグランドピアノを弾いてみませんか」実施33回 実施日 4/1,2,12,30, 5/9,14,21,27 6/13,24,25, 7/2,9,23,30 8/15,16,26,30, 9/3,24 10/28,29, 11/12,28 12/17,23,26, 1/7,20,21 2/14,21 (3月は感染症予防のため中止)	
	11	③市民プラザでの芸術体験を通じて、地域への愛着につながるような内容、工夫ある事業を実施します。	●保土ヶ谷オープンヘリテージコンサート □入場者数	100名	133名	A	カトリック教会 バロックチェロ&ヴィオラ・ダ・ガンバコンサート 実施日 2/22	
	12		●横浜市推進するフェスティバル事業：「横浜音まつり2019へ」の協力 □実施回数	1回	2回	A	「音まつりポスター展示」 実施日 6/20～30 「18区コンサート」 実施日 10/16	
	追加		■「岩間アーカイブ展」	実施	2回	A	実施日 6/18～30 ポスター展 7/11～23 動物写真編	
2 次世代育成に取り組みます。	13	①次世代を担う子どもたちが、文化芸術を通じて、豊かな創造性や感受性を育むことができる事業を実施します。	○「ゼロ歳から中高生のための地域劇場」 □述べ参加者数/開催回数	350名/2回	914名/6回	A	実施日 10/26,27,12/12,13,21,22	【成果】 ・「ゼロ歳から中高生のための地域劇場」「午前の音楽会」「音楽の贈り物@ほ도가や」では、子どもたちに鑑賞機会を提供し、いずれも多数の参加がありました。 ・「ほ도가や花フェスタ」では、地域の子どもたちが出演するヴァイオリンステージを企画実施、「ぼくのわたしのお絵かきあそび！」では、保育園児の作品を展示し、子どもたちの成果披露の場を提供しました。 ・夏休み日本舞踊ワークショップ「めざせ☆やまとなでしこ&につぼんだんじ」や横浜市芸術文化教室プラットフォーム学校プログラムでは、芸術体験を通じて、子どもたちの成長を促すことができました。 ・初の試みとして、近隣高校と連携し、「高校生が描いた紙芝居原画展」を開催しました。地域とのつながりの強化、次世代育成の取り組みに寄与しました。  【課題】 ・今後は、感染症予防を心がけながら子どもたちに芸術体験機会を提供することが求められます。
	14		○音楽の贈り物@ほ도가や □延入場者数/開催回数	450名/3回	470名/3回	B	「ほ도가や花フェスタ」 実施日 5/18 地域の子どもたちが出演するヴァイオリンステージを企画実施 「YBPクリスマスコンサート」 実施日 12/20,25	
	15		○シリーズ午前の音楽会(I-1再掲) ■3歳から入場可能なコンサートの実施	実施	実施	—	■3歳から入場可能なコンサートの実施 一時保育サービスを用意	
	16	②子どもたちが、自ら創作する喜びや、表現する楽しさを体験できる事業を実施します。	●子どものための夏休み日本舞踊WS「めざせ☆やまとなでしこ&につぼんだんじ」 □参加者数	25名/1回	24名	B	子どものための夏休み日本舞踊ワークショップ「めざせ☆やまとなでしこ&につぼんだんじ」 実施日 7/24～27	
	17	③子ども同士がお互いの個性を尊重し合いながら、交流し、自己表現の大切さ、コミュニケーション力を高められる機会をつくり出す。	●「ぼくのわたしのお絵かきあそび」 □延参加者数/開催回数	150名/1回	226名/1回	A	ぼくのわたしのお絵かきあそび！ 実施日 8/21～28	
	18		●「ギャラリー紙芝居口演」 □延参加者数/開催回数	50名/1回	55名/1回	B	「ほ도가やえかたり〜べ」による紙芝居口演 実施日 8/23	
	追加		●高校生が描いた紙芝居原画展 ■若者の施設利用 地元高校生との協働	実施	実施	—	■ほ도가や「えかたり〜べ」の協力により、市立桜丘高校漫画研究部の作品をギャラリーにて展示 実施日 10/1～6	
19	④横浜市芸術文化教育プラットフォーム等、アウトリーチ事業の活用により、子どもたちが文化芸術を体験する機会を増やします。	●横浜市芸術文化教室プラットフォーム学校プログラム 実施校数	5校	5校	B	実施日7/1権太坂小学校 箏 10/17瀬戸ヶ谷小学校 和太鼓 11/22川島小学校 造形 12/3,10,17保土ヶ谷小学校 和太鼓 12/11岩崎小学校 尺八と箏		
20	①地域で文化活動を担う人材を育成するための事業を実施します。	●WEB制作講座(初級編) □参加者数/開催回数	15名/1回	中止	—	●WEB制作講座(初級) 感染症予防のため中止	【成果】 ・「岩間ROCK SPACE2019」は昨年度は参加数が目標に達しませんでした。今年度は多数の応募があり、参加組数を増やして開催しました。 ・「地域理解講座」「岩間シネクラブサロン交流会」はいずれも参加者が目標を上回り、市民主体の文化芸術活動の支援が実現しました。 ・東海道保土ヶ谷宿魅力発見！シリーズ「日中伝統文化の出会いin天徳院」では、地域の魅力を伝えることができました。 ・「保土ヶ谷区民文化祭」は、いずれも盛況で、地域の文化活動に協力し、岩間市民プラザの周知を図ることができました。	
21		●映像制作講座(初級基礎編) □参加者数/開催回数	15名/1回	中止	—	●映像制作講座(初級) 感染症予防のため中止		
22		●「地域理解講座&体験ツアー」 □延参加者数/開催回数	50名/2回	391名/2回	A	「保土ヶ谷宿をめぐる文芸と文人たち」 実施日 10/6 地域理解講座 パネル展 実施日 2/14～25		

3 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成をします。	23	②市民が主体となって行う文化芸術活動を支援します。	●岩間シネクラブサロン交流会 □延参加者数/開催回数	30名/2回	50名/4回	A	実施日 8/22,10/24,12/19,2/20
	24		●「岩間ROCK SPACE2019」 □参加組数	8組	9組	A	入場者数 148名 実施日9/14
	25		○保土ヶ谷区民文化祭 美術展/写真展 ■地域の方の作品展示機会の提供協力	実施	実施	-	実施日 9/20～29 入場者数 305名 ■会場設置、広報等の協力を実施
	26		○保土ヶ谷区民文化祭 華道会いけばな展 ■地域の方の作品展示・文化に触れる機会の提供協力	実施	実施	-	実施日 10/26,27 入場者数 339名 ■当館1階の生花装飾を手掛ける地域の方の作品展示、会場設置などに協力
	27		○保土ヶ谷区民文化祭 高齢者作品展 ■地域の方の作品展示機会の提供協力	実施	実施	-	実施日 10/31～11/6 入場者数 533名 ■会場設置、広報などに協力
4 文化芸術を通じ地域のネットワーク形成へ寄与し、文化的コモンズ形成の牽引をします。	28	③市民団体とともに行う事業を通じて、施設と市民との良好な関係を築き、地域コミュニティの中核として認識されることを目指します。	●「東海道保土ヶ谷宿魅力発見シリーズ」 □参加者数	100名	59名	C	「日中伝統文化の出会いin天徳院」 実施日 10/26
	29		●「保土ヶ谷オープンヘリテージコンサート」	(I-1再掲)	実施	-	ほどがや人・まち・文化振興会共催「オープンヘリテージ」にあわせて、保土ヶ谷カトリック教会、保土ヶ谷区政推進課などの協力を得て開催
	30		○「ゼロ歳から中高生のための地域劇場」	(I-2再掲)	実施	-	横浜で活動を行っているNPO法人に協力し、子どもたちが舞台を楽しむ機会を提供
	31	①各市民プラザをはじめ近隣の施設(文化・福祉等)や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワーク構築につとめ、関係性を強化します。	●音楽の贈り物@ほどがや ア)音楽発表会@宿場祭り イ)YBPクリスマスコンサート	(I-2再掲)	実施	-	ア)「ほどがや花フェスタ」 実施日 5/18 ほどがや花の街推進連絡会、保土ヶ谷区役所と連携し、「ほどがや花フェスタ」のなかで、音楽教室と連携したバイオリン演奏会を開催 イ)横浜ビジネスパーク クリスマスコンサート 実施日 12/20,25 横浜ビジネスパークの協力を得て、ジャズとクラシックのコンサートを各1回開催
32	②地域のネットワークの中で継続した情報交換や共同事業、連携事業等を実施します。	●東海道保土ヶ谷区宿魅力発見シリーズ	(I-3再掲)	実施	-	「保土ヶ谷宿場祭り」開催時期に、地域の寺院で伝統芸能の公演を開催し、旧東海道保土ヶ谷宿の魅力を発見・発信しました。	
33		●保土ヶ谷区オープンヘリテージコンサート	(I-3再掲)	実施	-	ほどがや人・まち・文化振興会共催「オープンヘリテージ」にあわせて、保土ヶ谷カトリック教会、保土ヶ谷区政推進課などの協力を得て開催	
34		●音楽の贈り物@ほどがや ア)音楽発表会@宿場祭り イ)YBPクリスマスコンサート	(I-3再掲)	実施	-	ア)「ほどがや花フェスタ」 実施日 5/18 ほどがや花の街推進連絡会、保土ヶ谷区役所と連携し、「ほどがや花フェスタ」のなかで、音楽教室と連携したバイオリン演奏会を開催 イ)横浜ビジネスパーク クリスマスコンサート 実施日 12/20,25 横浜ビジネスパークの協力を得て、ジャズとクラシックのコンサートを各1回開催	
35	③施設内外でのさまざまなアートプロジェクトと連携・支援するなど地域の文化コーディネーター役を担います。	○借恵あきまつり ■借恵いわまワークス通所者作品展・鑑賞会等のイベントを通じて地域との交流をはかる事業への協力	実施	実施	-	○わくわくマーケット 実施日 11/9 ■借恵いわまワークスの地域との交流事業に、会場設営、広報等の協力を実施	

【課題】  
・東海道保土ヶ谷宿魅力発見！シリーズの参加者が目標に達しませんでした。今後、内容や料金設定を再考します。  
・「WEB制作講座」「映像制作講座」は、新型コロナウイルス予防のため中止となりました。今後、インターネットの活用を検討します。

【成果】  
・「ほどがや花フェスタ」では主催団体であるほどがや花の街推進連絡会、保土ヶ谷区役所、さらに、出演団体であるバイオリン教室と連携しました。地域のネットワークに参画し、様々な連携団体とバラエティ豊かな事業を実施することができました。  
・旧宿場町の顔を持つ保土ヶ谷区は、地域活動が活発です。ほどがや人・まち・文化振興会共催「オープンヘリテージ」、実行委員会による「保土ヶ谷宿場祭り」と連携した事業によって、さらなる地域のにぎわいに寄与しました。  
・「横浜ビジネスパーク クリスマスコンサート」では、近隣商業施設と連携し、地域に音楽を届けました。

【課題】  
・継続して地域との情報交換や交流を行い、つながりを深めるとともに、ネットワークを拡大していく必要があります。

5 地域コミュニティの形成、社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)の推進をします。	36	①文化芸術・社会福祉・国際交流の三分野にわたる複合施設としての特色を活かし、「借恵いわまワークス」「NPO法人保土ヶ谷国際交流の会」の各団体と協力・連携しながら、取り組みます ○岩間シネクラブでの障がい者就労支援喫茶店「いろえんびつ」との連携(チケット購入者の割引特典設定)	実施	実施	—	障がい者就労支援喫茶店「いろえんびつ」と連携し、「岩間シネクラブ」のチケット提示による割引特典を設定。上映後の参加者交流会を、喫茶室で開催
	37	○いわまワークス通所者作品展 □来場者数	100名	250名	A	実施日 11/25~12/6 借恵いわまワークス通所者の方の作品「2020年のカレンダー原画」展示と、カレンダーの広報協力を実施
	38	●フェローアートギャラリー □来場者数	200名	246名	A	フェローアートギャラリー「はじまりはアートの旅2019」 実施日 8/1~8/18 アート・メープルかれん(大倉山)で制作された作品25点を展示
	39	○借恵あきまつり	(I-4再掲)	実施	—	わくわくマーケット(再掲 I-4) ■会場設営、広報等の協力を実施し、借恵いわまワークス通所者と地域の方の交流へ協力
	40	●「ギャラリー紙芝居口演」	(I-2再掲)	実施	—	地元の団体「ほどがやえかたり〜ペ」オリジナルの紙芝居を口演し、近隣保育園の園児など、地域の子供が参加
	41	●シリーズ「午前の音楽会」	(I-1再掲)	実施	—	■3歳から入場可能なコンサートの実施、一時保育サービスを用意
	42	○近隣保育園発表会 □述べ参加者数/開催回数	300名/2回	597名/3回	A	子どもたちが芸術体験に触れる機会を提供
	43	●横浜市芸術文化教室プラットフォーム学校プログラム	(I-2再掲)	実施	—	実施日7/1権太坂小学校 箏 10/17瀬戸ヶ谷小学校 和太鼓 11/22川島小学校 造形 12/3,10,17保土ヶ谷小学校 和太鼓 12/11岩崎小学校 尺八と箏
	44	○ほどがや国際交流フェスタ □参加者数	300名	570名	A	実施日 11/17
	45	○異文化理解講座・日本語講座 □述べ参加者数	120名/36回	697名/47回	A	年57回開催
46	○NPO保土ヶ谷国際交流の会と、事業案内・広報の連携	実施	実施	—	ほどがや国際交流の会と、事業案内・広報の連携	
6 情報提供及び広報・プロモーション活動を行います。	47	①メディア事業者を中心とする共同事業体の専門性を活かし、情報提供・広報プロモーション力を強化します ●テレビ神奈川情報番組、スポットCM □掲載回数	月1回(両プラザで)	両プラザで月1回 実施	B	●tvk「猫のひたいほどワイド」にて、事業告知や施設案内「岩間寄席」「サイレントシネマ&活弁ワールド」のスポットCMを延462回放映
	48	②2つの市民プラザのホームページのデザイン、トーン&マナーの統一を図り、よりわかりやすく利用しやすい発信をします。 ●WEBページのコンテンツの充実よりわかりやすく、読みやすい画面構成作りを努めます。	実施	実施	—	■TOP画像を月替わりの事業に変更し、ホールの空き状況や災害・感染症による臨時休館案内を、分かりやすく掲載 ブログでは年2回「岩間寄席」の動画を公開し、事業のレポート記事を掲載するなど、WEBを活用
	49	③WEB(SNS・動画含む)、紙媒体、テレビ、市広報等、クロスメディアによる広報プロモーションを行います。 ●クロスメディア広報 □tvk、神奈川新聞、タウンニュースと連携した広報を展開	随時実施	随時実施	—	神奈川新聞、タウンニュース等と連携した広報を展開
	50	●プラザ催物案内 □発行回数/配布箇所数	12回/150箇所	12回/150箇所	B	年12回発行、市内150ヶ所程度配布
	51	●岩間町自治会の広報板・回覧板を利用、広報よこはま保土ヶ谷区版に告知掲載	実施	実施	—	■地元町内会とのコミュニケーションをはかり、地域の文化発信拠点として認知自治会の掲示板・回覧板、広報よこはま保土ヶ谷区版に定期的に事業情報を掲載

【成果】 ・「借恵いわまワークス2020年カレンダー原画展」、フェローアートギャラリー「はじまりはアートの旅2019」など言語、年齢、障がいの有無にかかわらず参加できる事業を展開し、多様な文化体験の機会を提供することができました。 ・障がい者就労支援喫茶店「いろえんびつ」と連携し、「岩間シネクラブ」のチケット提示による割引特典を設定。上映後の参加者交流会を、喫茶室で開催しました。 ・近隣保育園・学校やほどがや国際交流の会との連携により、ソーシャルインクルージョンを推進することができました。
【課題】 ・ソーシャルインクルージョンを一層推進するため、地域コミュニティとの関係を深め、地域の状況の把握に努めます。 ・借恵いわまワークスとは質・量ともにさらなる協働が図られるべきですが、福祉施設側の専門性が高いため、今後もさらにコミュニケーションを密にしながらか検討を重ねていきます。
【成果】 ・指定管理者の強みを活かし、tvkの広報枠を活用して、事業や施設の周知を図りました。スポットCMは2事業3公演で延462回放映され、販売促進に効果がありました。 ・「相鉄瓦版」や地元のフリーペーパーに掲載され、保土ヶ谷エリアを主に相鉄沿線にむけた広報を実施することができました。 ・WEBページのコンテンツを充実させ、非常時にはわかりやすい掲載を心がけました。 ・カメラ講座では、地域の魅力発信を行いました。
【課題】 ・顧客層にあった様々な広報手段の活用を進めます。

52		■相模鉄道発行の情報誌等を活用しての沿線利用者への広報アプローチをする。「相鉄瓦版」「駅からさんぽ」への掲載及び、相鉄天王町駅PRボックスにチラシを設置	実施	実施	—	相模鉄道発行の情報誌「相鉄瓦版」への掲載や天王町駅PRボックスを活用し、沿線にアプローチ
53	④地域の人材を育成し市全体のプラットホームを設立	■沿線のフリーペーパー等の告知を通じて、プラザの認知度アップをはかる	実施	実施	—	保土ヶ谷エリアのフリーペーパーや地域のケーブルテレビで紹介され、認知度向上
54		■周辺地域に集う方々の顔や地域の生きた情報を集めて発信するまちづくり情報サイトの機能を市民プラザホームページ内に構築	実施	実施	—	市民が参加する落語会「岩間寄席」の高座を収録し、ブログで動画を公開 カメラ講座のレポートで、街の様子を紹介
55		●カメラ講座 □参加者数 各回平均8名	(I-2再掲)	延79名/10回	B	カメラ講座 実施10回 実施日 4/2,5/7,6/3,7/1,8/7,9/2,10/8,11/13,12/3,1/7 (2/12,3/10は感染症予防のため中止) ■講座参加者が「岩間アーカイブ展(動物写真編)」に出展
56		●WEB制作講座(初級編) □述べ参加者数/開催回数	(I-3再掲)	中止	—	感染症予防のため中止
57		●映像制作講座(初級基礎編) □述べ参加者数/開催回数	(I-3再掲)	中止	—	感染症予防のため中止

--	--	--	--	--	--	--

評価項目		R元年度計画		実施状況		
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	
1 市民の文化芸術活動の発表:創作活動のための施設を提供します。	①さまざまなニーズに対応する、公平・公正なサービス提供を行います。	■交替勤務による伝達不足がないように、引継ぎノートを常備	実施	実施	メモ、連絡ノート、伝言等で情報共有 WEB上のスケジュール管理ツールやグループメールを活用	
		■e-mailによる問合せ等にも迅速に対応、施設見学の希望を随時受付	実施	実施	来館や電話、eメールによる利用に関する相談や助言を随時受付	
	②利用率が高まる工夫を行います。	■ギャラリー利用推進のため、「U-25割引制度」を導入。	実施	実施	「U25割引制度」により若い利用者を誘致し、制度を活用した写真展のご利用	
		■予約システム受付終了後も、公演・展示利用を受付	実施	実施	■ホールの空き状況をHPに掲載し、4週間を切ったご利用についても利用受付可能な旨アピール あわせて、ギャラリーの展示外利用をご案内し、新規利用が増加	
		■ギャラリー利用推進のため、「岩間アーカイブ展」を実施	(I-3再掲)	実施	「ポスター展」「動物写真編」を実施し、施設をPR	
	追加	■ホールの利用促進、施設のプロモーションのため、「ホールのグランドピアノを弾いてみませんか」を実施	(I-2再掲)	188名/年	A 施設の利用体験機会を提供	
	5	■営業担当者によるPR活動	実施	実施	近隣企業へ訪問活動を行った結果、レクチャールームやギャラリーの新規利用が増加	
	6	□目標利用率(%)				
		ホール(日)	93	87.4	B	
		ギャラリー(日)	53	53.6	B	
	リハーサル室(コマ)	75	54.1	C		
	レクチャールーム(コマ)	64	57.1	B		
	スタジオ(コマA~D平均)	85.5	77.6	B		
7	③日頃から安全第一に考えて、運営業務を遂行できるよう、防災訓練でスタッフの危機管理意識を高めます。	■防災訓練の実施	2回	2回	B 実施日 5/20、1/14 1/14の訓練は、国際交流ラウンジ、借恵いわまワークスと合同で実施	

評価	
自己評価	行政評価
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における文化拠点として利用率を向上させるための様々な工夫を行いました。たとえば、ホールの空き状況をホームページに掲載しアピールした結果、予約システムの入力期限を過ぎても来館受付が増加し、利用率向上につながりました。あわせて、ギャラリーの展示外利用をご案内し、新規利用が増加しました。</li> <li>・ギャラリー「U25割引制度」では若い利用者を誘致し、初の制度活用により写真展が開催されました。</li> <li>・利用促進事業として、岩間アーカイブ展「ポスター展」「動物写真編」を実施し、ギャラリーをPRしました。また、「ホールのグランドピアノを弾いてみませんか」では施設の利用体験機会を提供し、ホールのご利用につながりました。</li> <li>・岩間市民プラザ全体の円滑な運営のために、国際交流ラウンジ、借恵いわまワークス、保土ヶ谷三師会館、岩間市民プラザの4者の連絡会を、「プラザ連絡会」として、定期的に開催することとしました。今年度は、8月と12月に開催し、情報交換や、防災訓練の打ち合わせなどを行うことができました(3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣企業へ訪問活動を行った結果、ホールやギャラリーの新規利用が増加しましたが、新型コロナウイルスの影響により、利用率は低下しました。「新しい生活様式」にあった文化事業の実施について、検討を進めています。</li> <li>・新しい生活様式に合致した利用形態を定着させつつ、利用率向上を図る必要があります。</li> </ul>	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「U25割引制度」を活用した写真展の開催、ホームページを活用したホール空き状況の周知、利用促進事業の実施、「ホールでグランドピアノを弾いてみよう」の導入など、利用率向上に向けての努力と成果がみられることを評価します。</li> <li>・指定管理者の強みである動画を活用した発信を行っていることを評価します。</li> <li>・複合施設である岩間市民プラザにおいて、施設内の関係団体との情報共有・議論の場を作るプラザ連絡会の実施は重要です。プラザ連絡会など情報共有の取組を評価します。</li> </ul> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残念ながら、電話番号の誤記などコンプライアンスに関する事務処理ミスがありました。個人情報取扱研修やコンプライアンス研修など各種研修は実施されていますが、より根本的な対策の検討、研修内容を業務の中で具体的に活かすための取組を引き続き行ってください。</li> <li>・集客目標を下回っている事業がいくつかあることから、広報についても見直しが必要と考えます。利用者層にあったアピール方法の具体的な検討を期待します。</li> <li>・新規利用者の開拓に向けて有効な取組と考えられますので、「U25割引制度」利用者の増加、ギャラリー利用率の上昇に向けて広報等に引き続き取り組んでください。</li> <li>・利用者の意見を把握し共有することは、施設運営の基礎ともいえる取組で、非常に重要だと考えます。今後も引き続き、取り組みを継続し、必要に応じて業務の改善に役立てることを期待します。</li> <li>・災害時の備え、施設運営向上のために、施設内で必要な情報共有を行うよう引き続き努めてください。</li> </ul>

	追加		プラザ連絡会(プラザ、ワークス、国際交流、三師会)連絡会開催	開催	開催	— 実施日 8/7, 12/7	
2 利用者ニーズの把握、サービスの向上に努めます。	9	①来館者・利用者からのご意見・ご要望を受け止め、積極的に取り入れることでサービス向上につなげます。	■要望苦情は全スタッフで共有	実施	実施	— 連絡ノートやグループメールを利用し、要望苦情は全スタッフで共有	
	10		■緊急度・重要度から優先順位を決め順次取り組む。	実施	実施	— 緊急度・重要度から優先順位を決め、順次取り組み	
	11		■対応後はより良い改善に向け検証を実施	実施	実施	— 対応後は、より良い運営のため、受付マニュアルを改訂	
	12		□接遇研修	1回	2回	A □接遇研修 2回 5/20、1/14	
	13	②対象に応じた情報収集ツールを活用した、来館者・利用者ニーズの把握・分析に基づくサービスの向上につとめます。	■ご意見箱・受付対応・アンケートなどを通じてニーズを把握	実施	実施	— ご意見箱や公演時アンケートを実施 受付での対応のなかで頂いたご意見は共有し、運営に活用	
	14	③地域の情報発信拠点としての顔をつくる取組をします	■動画を作成して発信 ■受付カウンターにモニターを設置、来館者へのイベント等の発信	実施	実施	— ■「岩間寄席」動画をSNSで公開 館内モニターで動画を上映 ■受付カウンターのモニターで、自主事業などの告知を実施	
3 組織的な施設運営を行います。	15	①適切な運営組織体制と人材の配置(館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付パートスタッフ5)	□適所に必要な人材を配置(館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付担当5)	実施	実施	—	【成果】 ・毎日の朝礼や各種会議を実施し、情報の共有化、運営の改善を行っています。 ・職員研修では、ひとりひとりのスキルアップが組織力向上につながりました。  【課題】 ・引き続き着実な情報共有を行います。
	16	②組織内の情報共有及び主要人材の能力確保を行います	□朝礼	1回/日	1回/日	B	
	17		□職員会議	1回/月	1回/月	B	
	18		□運営会議	4回/年	4回/年	B	
	19		□企画検討会 随時	随時実施	随時実施	—	
	20		□職員研修	2回/年	2回/年	B	
4 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取り組みをします。	21	①個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注等の取組を実施します	■ネット上で申込み時の個人情報を安全に取り扱う仕組みを導入する	実施	実施	— セキュリティシステムを導入 セキュリティに配慮し、業務用PCを更新	【成果】 ・インターネット上で、申込み時の個人情報を安全に取り扱うため、セキュリティシステムを導入しています。また、セキュリティに配慮し、業務用PCを更新しました。 ・個人情報を含む書類の施錠管理、データのパスワード管理を徹底しました。また、個人情報チェックリストにより定期的に点検し、事故を防ぎました。 ・運営において、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注を心がけています。  【課題】 ・継続したセキュリティ対策を実施します。
	22		■個人情報管理・パスワード管理の徹底	実施	実施	— 個人情報を含む書類の施錠管理、データのパスワード管理を徹底 個人情報チェックリストにより定期的に点検	
	23		■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に添った対応	実施	実施	— 該当事例なし	
	24		■人権に配慮した運営・接遇	実施	実施	— 人権に配慮した運営、接遇を行うための研修 □接遇研修 2回 5/20、1/14	
	25		■文化施設としての快適性を確保しつつ節電	実施	実施	— 「デマンド監視装置」を活用し、節電	
	26		■中小企業への優先発注	実施	実施	— 市内に主たる事務所又は事業所を有する中小企業に、できる限り発注	

評価項目		R元年度計画		実施状況			評価	
Ⅲ維持管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 施設及び設備の維持保全、及び管理をします。	①施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施	日常点検時に発見した不具合を適切に補修、安全性を確保	実施	実施	－	■日常点検時、定期点検時に発見した不具合のうち、スタジオ備品など、職員で対応できるものについては、随時補修	【成果】 ・日常点検・定期点検で発見した不具合には速やかに対応し、安全・安心な施設提供を行いました。  【課題】 ・施設の老朽化が進み、故障・破損等が多く発生しています。今後見込まれる修繕に向けて予算の確保等が課題となっています。  【更なる取組を期待する点】 ・引き続き、利用者にとって快適で清潔な施設環境の維持をお願いします。また、施設の不具合の情報については、市との情報共有を引き続き積極的に行ってください。	
		消防設備及び法定点検を計画通り実施。不具合は確実に修繕	実施	実施	－	■消防設備及び法定点検を計画通り実施し、不具合が発見されたものは、交換等の対応		
	②保守点検・備品管理、環境維持を実施します。	■施設点検のための休館日を設定 □一定の期間が必要な修繕等に対応するため、連続する作業可能日を設ける	随時	実施	－	連続休館日 8/5、6		
		■業務の基準に則り物品管理	実施	実施	－	■「業務の基準」に則り、実査による確認を行った上、物品管理簿に記載し、報告		
		■利用実態に即した満足度を向上させる清掃	実施	実施	－	■巡回清掃は日常的に行い、利用者の要望にはその都度対応 冬季には特に感染症予防のため、衛生管理を強化		
		■年間排出計画を定めて廃棄物の発生抑制	実施	実施	－	■廃棄物管理担当を決め、年間の廃棄計画に則り、ゴミの分別を徹底し、リサイクル化を推進		
		□月1～2回の施設点検・職員研修	月1～2回	月1～2回	B	平均月2日の施設点検日を設定し、うち2回は防災訓練や研修を実施		
		□エレベーター・カーリフト点検	月1回	月1回	B			
2小破修繕を着実に実行します。	①小破修繕の取組をします	□巡回点検回数	1回/日	1回/日	B	始業時、利用者退出後の点検結果を点検チェック表に記載		
		■優先順位を付け、設置者と協議の上修繕を実施	実施	実施	－	消防設備や空調機器など、安全や施設利用に直結するものを優先的に修繕		
		■更新は長寿命化と経費節減の観点で横浜市と協議	実施	実施	－	外壁等大規模修繕については、長寿命化を見据えて、横浜市と協議		
3 事故予防及び緊急時対応を実施します。	①事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症対策等衛生管理の実施を行います。	■消防設備・避難経路の案内図を掲示し来館者へ周知	実施	実施	－	消防設備や避難経路の案内図を案内図が常時視認できるように表示		
		■施設設備不具合には迅速に対応し故障・停止を未然に防止	実施	実施	－	建築設備、舞台設備の保守点検契約を結び、設備を維持管理		
		■緊急時連絡網の作成、横浜市との連携の徹底	実施	実施	－	緊急連絡網を作成し、横浜市へ提出		
		■館内巡回により日常の衛生管理を徹底	実施	実施	－	利用時間前と、各施設のご利用が終了の都度、職員が巡回		
4 防災に取り組みます。	①日常の取組、危機管理マニュアルを整備、防火・防災に取り組み、災害備蓄等を実施します。	■災害時には「人命尊重」「生命の安全確保」を第一に対応	実施	実施	－	台風時には職員が敷地内外を点検し、交通機関の状況により閉館時間繰上げや臨時休館など、来館者の安全を確保 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日常巡回での除菌清掃		
		■危機管理マニュアル整備	実施	実施	－	感染症対策等、危機管理マニュアルを見直し、重要な箇所は事務室内に掲示		
		■防火・防災管理者、統括防火管理者の選任	実施	実施	－	防火管理者、統括防火管理者を選任		
		■所轄の消防署と相談した、非常時に成果が行かせる訓練を行う	実施	実施	－	「防潮板」操作の訓練を取り入れ、夏季の豪雨・台風などによる増水対策 国際交流ラウンジ、借恵いわまワークス、保土ヶ谷三師会館と共同実施		
		■非常用品を常備し、いつでも使用できるように管理	実施	実施	－	非常時に備え、ヘルメット、レスキューセット、飲料水、非常食、簡易トイレ、簡易毛布、携帯ラジオ等を常備		
		□防災訓練実施回数	2回/年	2回/年	B	実施日：5月20日、1月14日		
		□台風等による増水対策防潮板設置訓練の実施回数	1回以上/年	1回/年	B	実施日：5月20日		
						【成果】 ・年2回の防災訓練を実施し、職員の危機意識を高めました。 ・年2回行われる防火・防災訓練のうち、夏前に行われる回には、岩間市民プラザ特有の「防潮板」操作の訓練を取り入れ、夏季の豪雨・台風などによる増水対策を行っています。また、年2回の訓練のうち1回は、岩間市民プラザ、国際交流ラウンジ、借恵いわまワークス、保土ヶ谷三師会館と共同で行い、複合施設として一体となって防災に取り組んでいます。 ・台風時には職員が敷地内外を点検し、交通機関の状況により閉館時間繰上げや臨時休館など、来館者の安全を確保しました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日常巡回での除菌清掃、入替時に施設や備品の除菌を行いました。 ・感染症対策等、危機管理マニュアルを見直し、重要な箇所は事務室内に掲示しました。  【課題】 ・夜間少人数の際の地震、火災等への対応、及び夜間に想定外のゲリラ豪雨が発生した場合の防潮板の設置が課題です。		

5 その他の管理。	23	■許認可および届出の適切な実施	実施	実施	—	許認可及び届出、著作権手続きなどについては、適切に処理
	24	■目的外使用許可手続	実施	実施	—	目的外使用の手続きを適切に実施
	25	■名札の着用	実施	実施	—	管理運営業務従事者は名札を着用
	26	■人権の尊重、人権講習会等に参加	実施	実施	—	人権研修を実施
	27	■騒音・利用者迷惑行為に関する近隣対策の実施	実施	実施	—	工事の際、近隣に対して事前にご案内・ご説明
	28	■書類の保存期間を定め、保管・管理	実施	実施	—	各書類の保存期間を定め、保管・管理
	29	■行政機関が制定する規準等の遵守、法律制定・改正時の対応	実施	実施	—	行政機関が制定する基準等を遵守
	30	■法律の制定・改正時には、横浜市と協議し対応する	実施	実施	—	具体的な事例はなし

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・許認可及び届出、著作権手続きなどについては、適切に処理しました。</li> <li>・その他達成指標に記載した内容を実施しました。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、法律や各種基準の改定について情報収集を行います。</li> </ul>
---

評価項目		R元年度計画		実施状況			
IV収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項		
1 適切な収支構造および収支バランスを目指します。	1 適切な収支構造及び収支バランス目指します	■民間のノウハウを生かした事業計画の立案と効率的実施	実施	実施	—	事業毎に採算ラインを設定	
	2	■事業収支の精査	実施	実施	—	収入面では、自主事業収入が予算を1,275千円上回った。新型コロナウイルス感染症及び台風による臨時休館の影響で利用料金は予算を大幅に下回ったが、節電等管理費を削減した結果、収支は541千円のマイナス。前年度より収支は改善傾向	
2 指定管理料にのみ依存しない収入構造に取り組みます。	3 ①指定管理料のみに依存しない収入確保に取り組みます。	■利用率向上による収入確保	実施	実施	—		
		□目標利用率(再掲)	(Ⅱ-1再掲)				
	4 ②共同事業体の得意分野を活かした営業・広報強化による増収策やコスト削減等、収支構造を再分析し、短・中期的ビジョンを構築します。	5	ホール(日)	93	87.4	B	
			ギャラリー(日)	53	53.6	B	
			リハーサル室(コマ)	75	54.1	C	
			レクチャールーム(コマ)	64	57.1	B	
スタジオ(コマA~D平均)	85.5	77.6	B				
■営業ノウハウを持つ担当者の配置と協賛金獲得活動の実施	実施	実施	—	営業ノウハウを持つ担当者による協賛金獲得活動			
■商品サンプリングの実施	実施	中止	—	サンプリングを働きかけたが、実施に至らず			
3 経費削減及び効率的運営努力をします。	6 コスト削減の徹底を実施します	■空調や照明を節減し、光熱水費削減	実施	実施	—	デマンド監視装置により電力を管理し、利用状況に応じて日常的に節減を行った結果、光熱水費は対予算13%減	
	7	■職員全員が削減意識を持ち事務事業費の経費削減	実施	実施	—	事業費、事務費について、職員全員がコスト意識を持ち、発注先の見直し、印刷物などの必要枚数見直し	

評価	
自己評価	行政評価
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理料にたよらない収入構造を確立するため、事業毎に採算ラインを設定しました。自主事業への協賛金は1件得られました。</li> <li>・収入面では、自主事業収入が予算を1,275千円上回りました。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症及び台風による臨時休館の影響で利用料金は予算を大幅に下回りました。</li> <li>・前年度より収支は改善傾向にあり、今後は一層の改善を目指します。</li> </ul>	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業ごとの採算ラインの策定や協賛金獲得のための働きかけ、近隣企業への訪問活動など、指定管理料に頼らない収入構造の確立に向けた取組を評価します。</li> <li>・自主事業が盛況だった結果、収入が予算を大きく上回っていることを評価します。</li> </ul> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協賛金助成金等の収入が昨年と比較して半減、予算額の3分の1になっています。協賛金助成金の獲得については指定管理者のノウハウを生かせる分野として提案されていますので、一層の取組を期待します。</li> </ul>
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業ノウハウを持つ担当者による協賛金獲得活動を行い、自主事業への協賛金が1件得られました。</li> <li>・催し物案内広告掲載は、過去最多となる9件の実績を達成しました。</li> <li>・近隣企業へ訪問活動を行った結果、ホールやギャラリーの新規利用が増加しました。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、利用率は目標を下回りました。利用率の増加に向けた対策を検討します。</li> <li>・サンプリングを働きかけましたが、実施に至りませんでした。計画の見直し、改善等に取り組みます。</li> </ul>	
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド監視装置により電力を管理し、利用状況に応じて日常的に節減を行った結果、光熱水費は対予算13%減となりました。</li> <li>・事業費、事務費について、職員全員がコスト意識を持ち、発注先の見直し、印刷物などの必要枚数見直しなどを行うとともに、内部で作業が可能なものについては職員が行うなど、コスト削減に努めました。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きコスト削減を進めます。</li> </ul>	



評価項目		R元年度計画		実施状況	
V PDCAサイクルの確実な運用	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項
日報及び月間事業報告書の作成・管理	1	各種日報を作成	実施	実施	業務日報、舞台管理日報、設備管理日報、清掃日報を作成
	2	月報を作成し、モニタリング時に提出	実施	実施	月報を作成し、モニタリング時に提出
	3	日報・月報の管理保存	実施	実施	各種日報、月報は適切に管理保管

評価	
自己評価	行政評価
【成果】 ・各種報告書は適正に作成・報告、管理しました。	
【課題】 ・引き続き適正に行います。	

評価項目		R元年度計画		実施状況	
VI 留意事項	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項
1	①必要な保険に加入します ②関係法令を遵守します ③情報公開に取り組みます ④市その他関係機関との連絡調整	保険：損害保険の加入	実施	実施	施設賠償責任保険(賠償責任保険《施設、昇降機、自動車管理者》、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険)に加入
		□個人情報保護研修	1回/年	1回/年	B 実施日：1月14日
		■横浜市「情報公開に関する標準機亭」 「横浜市民プラザ情報公開規定」遵守	実施	実施	横浜市の「情報公開に関する標準規定」に基づき策定した「横浜市民プラザ情報公開規定」を遵守
		□横浜市モニタリング	1回/月	1回/月	B
		□プラザ館長会議	6回/年	6回/年	B
		□JV会議	4回/年	4回/年	B
		□区民文化センター・市民プラザ館長会議	4回/年	4回/年	B
		□岩間市民プラザ連絡会議	4回/年	4回/年	B
追加					
追加					

評価	
自己評価	行政評価
【成果】 ・施設賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加え、ワークショップ開催時にはレクリエーション保険に加入しました。 ・研修を行うなど、法令遵守に取り組みました。	
【課題】 ・今後も横浜市及び関係機関との連絡調整会議を開催します。	

その他	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項
1 2つの市民プラザを一体で運営します	①共同事業実施による市民文化活動の交流拡大 ②教育プラットフォーム学校プログラムコンテンツ拡充、効率化 ③スケールメリットによるファンドレイジング活動、利用促進活動の推進 ④一体管理による安心安全、快適な施設管理と長寿命化への対応	■若手落語会や市民参加の音楽事業を両館で開催 ■tvk番組内コーナーでの事業告知を両プラザ相互に月1回 ■人的資源やノウハウを2館共通で活用し、管理・運営面でも連携	実施	実施	

自己評価	行政評価
【成果】 ・吉野町・岩間両プラザ連携企画事業として、「若手落語会」「岩間ROCK SPACE」「吉野町音楽空間」を開催し、両プラザ合同で広報や事業運営に取り組みました。tvk番組内コーナーでの事業告知は、両館交互に月1度行いました。 ・また、両プラザ合同職員研修を2回実施し、一層の連携強化を図りました。事業実施時の職員の相互応援や機材の応援など管理・運営面でも連携しました。	【評価する点】 ・共同事業体において連携事業の取組を実施していること、両プラザ合同職員研修を実施し協力体制の構築に取り組んでいることを評価します。
【課題】 ・経年劣化が進む施設の管理面で、情報やノウハウを共有します。	【更なる取組を期待する点】 ・引き続き、両プラザの連携により効率的な安定的な運営を期待します。

評価項目		R元年度計画	実施状況
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標	特記事項
	1		

評価	
自己評価	行政評価
<p>共同事業体による指定管理4年目は、連携に一層力を入れました。吉野町市民プラザとの連携事業として、「若手落語会」を初開催、市民参加型音楽事業「岩間ROCK SPAC E」を共同開催しました。「横浜音まつり2019」開催年にあたり、クラシック、邦楽、民族音楽のシリーズ事業に加え、レクチャーコンサートやポスター展を開催し、様々な音楽体験の機会を提供しました。</p> <p>また、「ほどがや国際交流ラウンジ」、「偕恵いわまワークス」との協力連携により、文化の多様性を発信することができました。</p> <p>運営面では、ホールやギャラリーの利用促進事業実施と地域企業への営業活動により、新規利用を誘致しました。また、若い方対象の割引制度ギャラリーU25プランの初利用がありました。</p> <p>設備管理等については、共同事業体構成員の高い専門性を活かした日常管理を着実に行いました。台風や新型コロナウイルス感染症の際には、安全を最優先にした対応を心がけました。</p>	<p>令和元年度は台風や新型コロナウイルス感染症など、未曾有の災害に見舞われた年でもありました。厳しい状況の中、大きなトラブルのないよう対応に努めていることを評価します。</p> <p>とりわけ、両プラザの連携事業「若手落語会」を新規で実施するなど、共同事業体の連携に取り組んでいることを評価します。複数の施設を運営する共同事業体の強みを活かした連携は、新たな交流と文化的つながりを生み出すことが期待されますので、より発展した取組を目指してください。</p> <p>また、複合施設の特性を生かして協力連携を行い、文化芸術を通じた地域のネットワーク形成へ寄与していることを評価します。今後も、関係団体との協力、地域との交流を引き続き積極的にいき、文化的コモンズの形成を牽引していくことを期待します。</p> <p>事業の展開が活発である一方で、運営面ではコンプライアンスに関わる事務処理ミスが発生するなど、課題となる出来事もありました。既に設けられている職員研修や会議の場が有効なものとなるよう見直すとともに、一定の緊張感のある職務執行が引き続き必要です。</p> <p>第三期指定管理期間の終了を控え、提案書の内容の実現に向けて、これまでの取り組みを継続するとともに、未実施の取り組みを実施していくことを求めます。培ってきたノウハウを生かし、より多くの市民に愛され親しまれる施設を目指してください。</p>